

神戸大学大学院農学研究科が地域特産品である黒大豆を研究

< 兵庫県 >

市町村・集落の名称	篠山市
協働の相手の名称	神戸大学大学院農学研究科
仲介者・コーディネーターの名称	地域連携コーディネーター
協働のポイント	地域と大学のネットワーク再生
協働のきっかけ・経緯	大学の前身が本市に所在した縁から、地域の課題解決、大学の教育研究の充実による双方の持続的な発展を目指すため、恒常的に連携できる体制づくりをすすめることとなった。
取組の具体的な内容	<p>1) 連携研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒大豆生産を基軸とした地域産業複合体形成の可能性に関する研究(平成 19 年) ・丹波黒大豆の栽培試験による堆肥技術向上と教育効果に関する研究(平成 19 年) ・篠山市特産物の有機資材活用型栽培法と有用形質調査に関する研究(平成 20 年) ・地域特産物(丹波篠山黒大豆)マーケティング戦略構築に関する研究(平成 20 年) ・篠山市の集落営農組織育成に係る調査研究(平成 20 年) <p>2) 現地研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業農村フィールド演習の開講(平成 20 年)
農村地域への効果	研究結果を特産物振興施策へ反映。
都市部の主体への効果	研究者・学生が現場での経験から、新たな発見、研究開発、成長の機会を得られる。
仲介者等の役割	篠山フィールドステーション(篠山市内に設置)を拠点と、大学と市との連携事業の実施及び事務処理。
今後の課題	市の施策課題と大学の研究テーマの調整に時間を要しており、研究時間が短くなっている。早期の研究テーマの決定が必要。
関連事業(国・都道府県等)	兵庫県自治振興事業「官学連携による地域コミュニティ再生事業」